



熊谷市 記者クラブ取材情報

平成28年10月28日発表
担当課:熊谷市教育委員会
社会教育課

事業の名称等

平成28年度 熊谷市文化功労者・教育関係職員表彰式

1. 日時

平成28年11月3日(木・祝) 10時00分～

2. 場所

熊谷市立大里生涯学習センター あすねっと

3. 事業概要

<事業内容>

式典

- 文化功労者3名 富岡 清(学校教育・文化 80歳)
長野 順一(体育 80歳)
渡辺 是仁 <雅号:渡辺 継斎>(文化 80歳)

- 教育関係職員表彰者 31名 学校教職員18名、学校医9名、学校歯科医1名、
学校薬剤師1名、公民館職員2名
(熊谷市内在勤15年以上で勤務成績が良好である者)

<目的>

- 文化功労者:教育・学術・文化・体育の振興について特に功績が顕著である方を表彰する。
- 教育関係職員表彰:熊谷市内在勤15年以上で勤務成績が良好である者を表彰する。

<影響・効果>

- 文化功労者:文化活動を行っている方の励みになり、文化活動の振興に資することになる。
- 教育関係職員表彰:教育関係職員の励みになり、教育の振興に資する。

4. 特徴やPRポイント

5. その他

<主催者>

熊谷市教育委員会
代表者 野原 晃

<連絡先>

048-524-1111 内線(394)

※ 資料の有無(有・無)

担当者 熊谷市教育委員会社会教育課 小暮、水野

連絡先 TEL 048-524-1111 内線(394) shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp

熊谷市文化功労者

とみ おか きよし
富 岡 清 氏（８０歳）

熊谷市河原町

氏は、４７年間の長きにわたり、小中学校及び高等学校の学校薬剤師として、学校における環境衛生や薬事衛生、公衆衛生等の維持・改善を推進するとともに、学校保健計画の策定に参画し、薬剤師としての専門的立場から指導助言を与え、学校保健活動の充実・発展に貢献しました。

平成元年には、熊谷市薬剤師会会長に就任、平成７年４月には、現在の一般社団法人熊谷薬剤師会会長に就任し、本市の医療、福祉、保健の発展のため、熊谷市医師会、熊谷市歯科医師会と連携し、休日夜間診療体制の確立に尽力しました。

また、埼玉県が開発途上国の医療、福祉向上のため、ネパールに保健所機能を定着させようとした活動に協力し、平成６年に熊谷薬剤師会に「ナマステ委員会」を設立、救急車の寄贈や小学校建設資金の募金活動などを推進し、同国との親善・文化交流に貢献しました。

さらに、氏は、平成１７年度のうちわ祭大総代として祭を統括するなど、伝統文化の継承にも尽力しています。

このように、本市の医療、福祉及び保健の充実・発展、並びに文化振興に大きく貢献した功績は誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

なが の じゅん いち
長 野 順 一 氏（８０歳）

熊谷市万平町

氏は、県立高校の教諭にある間、一貫して軟式庭球部の顧問を務め、関東大会優勝者、国体出場選手等、多くの優秀な選手を育てるとともに、生徒の技術、体力の向上及び健全育成に努めました。

この間、全国大会には１０年以上出場し、特に県立熊谷女子高等学校時代には、県団体戦３連覇を果たしています。

また、５３年目を迎える熊谷市早起きソフトテニス教室の開講当時から指導者として活躍し、今なお、適切かつ丁寧な指導を続けており、ソフトテニスを通じて、児童から高齢者までの幅広い世代の市民の体力向上、技術向上、健康増進などに日々、熱心に取り組む姿勢はスポーツ振興に携わる者の模範となっています。

さらに、埼玉県軟式庭球連盟技術等級委員長、公認審判委員長を務めるとともに、埼玉県高等学校体育連盟軟式庭球部専門部長、熊谷市ソフトテニス連盟顧問、埼玉県ソフトテニス連盟監事などの要職を歴任し、それぞれの立場から、競技レベルの向上、ソフトテニスの普及促進に尽力しています。

このように、スポーツの振興を通して、市民の生活に潤いを与え、生涯スポーツの充実発展や活力のある街づくりに大きく貢献した功績は誠に顕著であります。

熊谷市文化功労者

わたな べ よし ひと 氏（８０歳）
渡 辺 是 仁

（雅号：わたな べ けい さい）
渡 辺 継 斎

熊谷市別府

氏は、昭和４７年に熊谷市美術展書の部審査員に推挙されて以後、翌年からは熊谷市書道展審査員に就任するとともに、平成２０年からは熊谷市勤労者文化展の審査員を務め、現在に至るまで長年にわたり活躍しています。

書家としても、その高い実力により、多くの実績を収め、第１回熊谷市美術展書の部での特選第１席受賞を始め、県北書道展、県北美術展、埼玉書道展などで、数多くの特選、優秀賞を受賞するとともに、公民館及び直実市民大学において、書道に関する指導を行うなど、公私共に、その活動は顕著であります。

また、長年、熊谷市文化連合の役員を歴任し、平成２３年には、同文化連合の会長に就任、同時に熊谷市文化連合、大里文化団体連絡会、妻沼文化連合、江南文化団体連合会の合併協議会委員長として尽力し、平成２７年に合併を成し遂げました。

さらに、熊谷市教育委員会発行の「文芸熊谷」では、創刊号から編集に携わり、第３号及び第４号では企画委員長を務めるなど、文芸創作活動の振興に尽くしています。

このように、高い教養と卓越した統率力をもった文化人として、本市の芸術文化の発展に大きく貢献した功績は誠に顕著であります。